

# 京都市の生物多様性と その保全

京都市 環境保全創造課



# 生物多様性とは？

「生きものたちの豊かな個性とつながり」のこと

約40億年で様々な  
環境に適応・進化



多様な生きもの  
(3,000万種とも)



# なぜ生物多様性を保全するのか？

~~生きものが絶滅するとかわいそうだから？  
たくさん生きものがいると楽しいから？~~

私たち人間の暮らしのため

様々な恩恵

生物多様性の恵み（生態系サービス）

多様な生態系

多様な種

多様な遺伝子

# 生物多様性の恵み（生態系サービス）

私たちの暮らしや事業活動を  
支えるもので、4つに分類

基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス

＜生態系サービスのイメージ＞

基盤サービスの上に、他のサービスが成り立っている

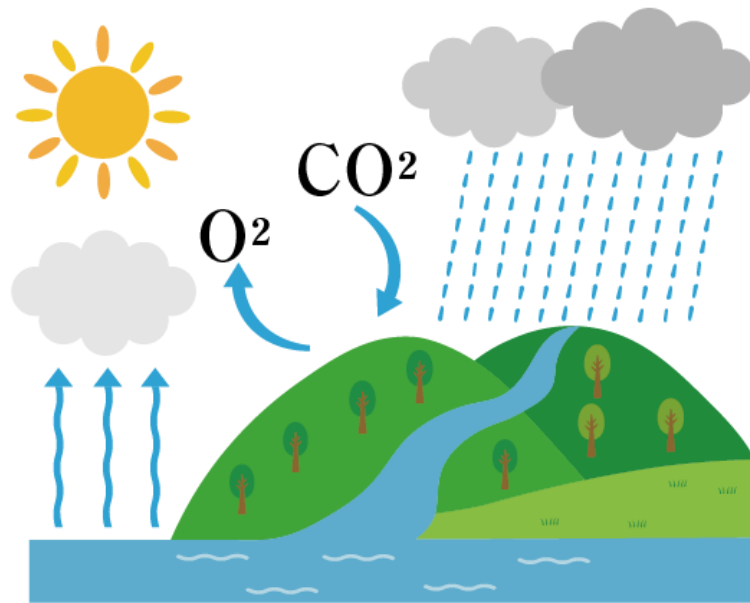
供給  
サービス

調整  
サービス

文化  
サービス

基盤サービス

# 生物多様性の恵み（生態系サービス）



## 基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス

植物は、空気中の二酸化炭素を吸収し、動物や植物自身の生存に欠かせない酸素を作り出し、安定した気候を生み出しています。

また、安定した気候は、雲の生成や雨を通じて、水の循環をもたらします。

# 生物多様性の恵み（生態系サービス）



基盤サービス

**供給サービス**

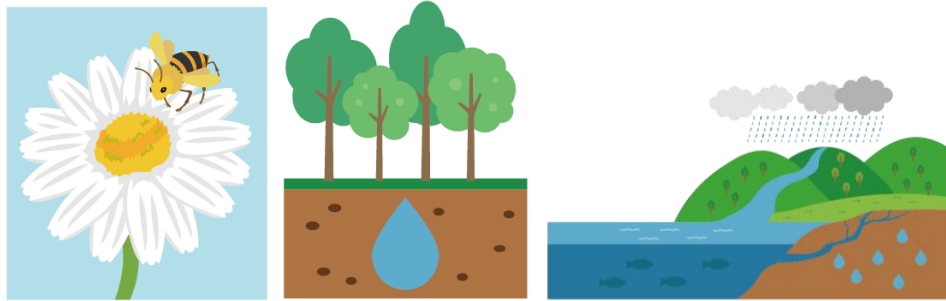
調整サービス

文化サービス

米や野菜、魚、肉、住居に使用される木材、衣類に使用される絹や羊毛、綿、麻は、農林水産業を通じて、森里川海の生態系から得られる自然の恵みです。

また、健康を補助する医薬品や暮らしを豊かにする科学技術にも、生物の機能や形態が利用されています。

# 生物多様性の恵み（生態系サービス）



基盤サービス

供給サービス

**調整サービス**

文化サービス

森林が雨水を貯留し、水が少しずつ流れ出すことにより、洪水や土砂災害といった自然災害の発生が防止され、土壌の水質浄化機能により、安全で栄養豊かな水が供給されることで、私たちの暮らしの安心・安全は保たれています。

また、地球上の主要農作物の75%以上、花を付ける植物の約90%は、昆虫や鳥などが花粉を運ぶことで受粉を手助けされており、様々な生きもののつながりが保たれているからこそ、私たちは、安定した食料供給を受け、美しい花々が咲く景観を楽しむことができます。

# 生物多様性の恵み（生態系サービス）

基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス



豊かな自然は、京都の文化や景観、ひいては観光の基盤を成すとともに、私たちに安らぎや癒しを与え、ハイキングや森林浴などを通じて、身体の健康にも寄与しています。

# 生物多様性の恵み（生態系サービス）

生物多様性は、人間にとって有用な価値を持つ資本であるばかりでなく、心の安らぎや健康、豊かな文化の根源ともなる、極めて重要なものです。

私たちが生存し、生態系サービスを将来にわたって享受していくためには、人間にとって有用な価値を持つ種や希少種だけではなく、生態系全体を保全し、生態系の回復能力を超えない範囲で利用していくことが大切です。



# 京都市における生物多様性との関わり

緑豊かな山々や、鴨川をはじめとする清流の恵みを受けながら、鮮やかに季節が移ろう京都市では、人と自然が一体となった自然観を有し、自然を尊重するとともに、自然と共生する暮らしの中で、多様な文化を形成してきました。

## <食文化>



## <祭事・伝統文化>



## <社寺の緑>



## <茶道・華道>



## <景観>



# 京都市の生物多様性の課題

- ・「京都らしさ」を支える生物資源の減少
- ・里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下
- ・多様な動植物が見られる重要な生息・生育地の危機
- ・地球温暖化の進行による生態系への影響
- ・プラスチックによる生態系への影響



**これらの課題を解決するために  
京都市生物多様性プランを策定**



# 京都市生物多様性プラン(2021-2030)が目指すもの

「生物多様性の保全と持続可能な利用」の具体的な方策を示し、あらゆる主体が行動できる指針。

「地球温暖化対策」や「循環型社会の構築」といった環境政策と一体的に取り組を進めていく。

農林業、都市緑化、風致保全、伝統・文化、防災・減災、観光、健康、消費生活等のあらゆる分野の政策との融合を図り、自然と共生する持続可能な社会の実現を目指す。

## <目指す方向性>

- ① 「知る」から「行動」へ
- ② 「生物多様性の持続可能な利用」の重点化
- ③ 自然共生社会の実現に向けた変革
- ④ 京都から世界の生物多様性保全への貢献



<https://www.city.kyoto.lg.jp/kan/kyo/page/0000282470.html>



# 課題解決に向けた視点

生きものの生息・生育地を守るため、「**生物多様性の保全・回復**」に取り組むとともに、「京都らしさ」を支える生物資源の減少や里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下が進んでいることから、「**生物多様性の持続可能な利用**」に重点を置いた取組が必要。

一人ひとりの生物多様性についての認識が徐々に広まってきてはいるものの、あらゆる主体が生物多様性の重要性を十分に認識し、「自分ごと」として行動していくことが強く求められる。一人ひとりの「**ライフスタイルの転換**」を図るとともに、社会そのものを生物多様性に配慮したものとする「**社会変革に向けた仕組みの構築**」に取り組むことが必要。

① 「**生物多様性の持続可能な利用**」

② 「**生物多様性の保全・回復**」

③ 「**ライフスタイルの転換**」

④ 「**社会変革に向けた仕組みの構築**」

4つの視点で  
取組を進める。

# プランの目標の体系

## 《 2050年のあるべき姿 》

自然を慈しみ、自然に感謝し、自然と共に、京都の暮らし・文化・産業が継承・発展される「自然共生のまち・京都」

## 《 2050年までに達成すべきこと 》

### ＜視点1＞

生物多様性の  
持続可能な利用

### ＜視点2＞

生物多様性の  
保全・回復

### ＜視点3＞

ライフスタイルの  
転換

### ＜視点4＞

社会変革に向けた  
仕組みの構築

達成項目：具体的な目標の到達点

## 《 2030年度までの目標 》

### ＜目標1＞

京都らしさを支える  
生物多様性の持続可  
能な利用を図る

### ＜達成項目＞

京都の文化を支える  
生物資源を持続的に  
利用する 等

### ＜目標2＞

生息・生育地と種の多  
様性を保全・回復する

### ＜達成項目＞

多様な動植物が見られ  
る重要な生息・生育地  
の環境を改善する 等

### ＜目標3＞

生物多様性に配慮し  
たライフスタイルの  
転換を図る

### ＜達成項目＞

生物多様性に配慮し  
た消費行動が広がっ  
ている 等

### ＜目標4＞

社会変革に向けた仕  
組みを構築する

### ＜達成項目＞

生物多様性に配慮し  
た経済活動を促進す  
る 等



# 生物多様性のための行動例（事業者の皆様）



## 知ってみる！

色々な情報を知ること、立派な一つのアクション！興味のある内容だけでもよいので、まずは情報収集してみましょう。



### 担い手宣言やメルマガ登録してみよう

メール登録で学習会や観察会などのイベント、セミナーのほか、他の企業の取組も見れます。様々な情報が届くので、興味のある情報を集めてみましょう。

#### 京の生物多様性担い手宣言制度

生物多様性のために取り組みたい行動を宣言いただき、宣言内容に応じた情報を確認できます。

website



#### きょうと生物多様性センター メルマガ会員

イベント情報やセンター事業、生物多様性に関する情報をお届けします。

website



— 登録でイベント情報の発信が可能！（※発信内容に制限がございます。） —



## 行動してみる！

メール等で得た情報を基に、興味のあるセミナーやイベントに参加してみましょう。思いがけず、協力してもらえる仲間が見つかるかも！



### 企業向けセミナーやいきものフェスに参加してみよう

行政や団体が開催するイベントやセミナーに参加してみましょう。座学のほか、自然観察会や植物の育成など、実際に体験できるイベントもあります。



企業向けセミナー



きょうと☆いきものフェス！

# 生物多様性のための行動例（事業者の皆様）



## 保全活動してみる！

たくさんの保全活動のうち、やってみたい・気になる活動に参加・実践してみましょう！



### 保全活動に参加してみよう

聞くのとやるでは大違い！？興味のある保全活動に参加してみましょう。  
「思った以上に楽しかった」との声も上がるかもしれません。



保全活動の様子



敷地内で植物を育てている様子



## 寄付も保全活動もしてみる！

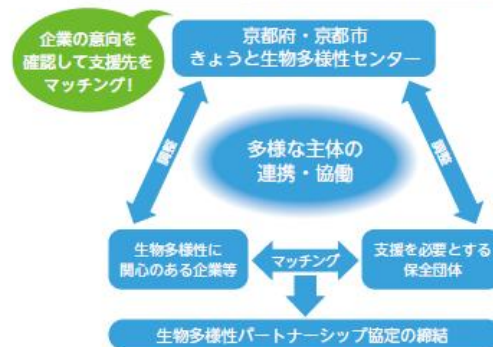
市内で活躍する保全団体を支援してみましょう！  
一緒に活動してみると、より有意義な活動に。



### 資金面でも支援してみよう

保全活動に金銭支援をしてみましょう。

事例：きょうと生物多様性パートナーシップ協定制度



協定に基づき活動した様子

きょうと生物多様性  
パートナーシップ協定制度



# 生物多様性のための行動例（事業者の皆様）

## 宿泊業や商業施設、医療・福祉施設 など

- ・京都ならではの植物をプランターで育ててみる。
- ・環境に配慮したものを使用したり、サービスの提供に伴い発生する廃棄予定の物の利用を検討してみる。

### 環境に合った植物を育ててみよう



室内 鉢植えでの栽培



「英里帰里」の様子

フタバアオイの奉納式「英里帰里」に参加し、葵祭の継承にも貢献できる。育て楽しむことが祭事や伝統行事につながることも



website

「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」について

お客様とのコミュニケーションにも!!

## 見つけ直しが生物多様性に貢献することにも

### 事例

社内で使用する製品を生物多様性に配慮したものに転換してみる

アメニティ提供の絞り込みとカトラリーの環境配慮型製品への転換に取り組まれています。



### 事例

社内で廃棄予定の物を利用して新たなものに生まれ変わらせる

カフェから出たコーヒーかすを、高等学校と連携しキノコ栽培に利用されています。



コーヒーかすからキノコが生える様子

## 製造業 など

製品の原料となる植物の保全や環境に配慮した商品の開発、敷地内で生きものの住処になる場所を造れないか検討してみる。

### 事例

生物多様性に配慮した商品開発に取り組んでみる

植物を剪定する際に出た不要な葉を原料とした商品開発や、植物を店頭で展示し育成に取り組まれています。



植物の店頭での展示

### 事例

敷地内に生きものが住める環境を造ってみる

敷地内に雨を一時貯水する「雨庭」を設置し、環境に合う植物を配置することで、生きものの住処を拡大されています。



雨庭の様子

# 生物多様性のための行動例（事業者の皆様）

## 学校

将来を担う子どもたちが、生物多様性の大切さを感じる・考えることはとても重要なこと。

### 生きもの観察を通して自然の大切さを伝えてみる

#### 地域生きもの探偵団

京都市立小学校が授業において自然観察を実施する際に、専門家を派遣して児童に多様な生きものたちのつながりなどを解説しています。

website



地域生きもの探偵団の様子

### 生きもの調査や清掃活動を通して自然の大切さを知ってもらう

#### 事例

#### 近隣で生きもの調査をしてみよう

市内の高等学校では、地域の方や大学生、小学生と共に生物環境調査が行われています。年ごとにテーマを設定しつつ、調査研究を継続されています。

#### 事例

#### 近隣の清掃活動に参加してみる

市内の小中学校では、人と生きものに良い環境づくりを目指して、地域の方々が主催する清掃活動への参加やポイ捨てごみを減らすための啓発看板を設置されています。



河川清掃の様子



設置した啓発看板

## 企業が取り組む意味

生物多様性への配慮・対応が、企業の評価につながり始めています。新たなビジネスチャンスとしても、事業所における生物多様性に対する取組が注目されています。

事業をより良くするきっかけとして、小さなことから生態系を保全・再生する取組にチャレンジしてはいかがでしょうか。京都の豊かな自然を次世代へつなぐために、皆様のご参加をお待ちしております。

## 保全活動先紹介

市内では、様々な団体・企業等が活動しています。

京・生きものミュージアム

活動団体一覧

website



魚道の設置



希少植物の保全

### ● きょうと生物多様性センター

website



【実施していること】 企業と保全団体をつなげるコーディネート等

【問合せ先】 TEL：090-4496-3887 MAIL：contact@kyotobdc.jp

【本部オフィス】 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 京都府立植物園 植物園会館 2階

【交流オフィス】 〒606-8511 京都市左京区松ヶ崎堂ノ上町7-2 左京区総合庁舎 2階14番窓口  
（相談窓口あり） 開所日：月・水・金曜日 13時～17時（祝日・休日・年末年始を除く）

### ● 京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

【実施していること】 京の生物多様性担い手宣言制度、京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度、きょうと生物多様性パートナーシップ協定制度、地域生きもの探偵団

【問合せ先】

T E L：075-222-3951

MAIL：k-kyosei@city.kyoto.lg.jp

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

本庁舎1階

# きょうと生物多様性センター

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、令和5年度に府市協働で設置。生物多様性に関する情報を正確かつ継続的に把握し、収集された知見を基に、生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等を行うとともに、保全に係る様々な主体の連携・協力関係を構築し、効果的かつ持続可能な生物多様性保全の取組を展開している。

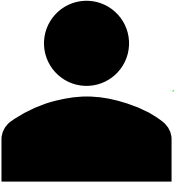
## 設置場所（機能）

- 〔本部オフィス〕京都府立植物園会館（本部事務機能、コーディネート機能 等）
- 〔交流オフィス〕左京区役所（ネットワーク形成、交流場所、情報発信機能 等）  
※ 交流スペースを設け、月曜日、水曜日及び金曜日の午後1時～午後5時に開所（祝日・休日・年末年始を除く）。
- 〔情報オフィス〕京都府立大学（生物多様性情報の集積・データベース化機能 等）

## 問合せ先

- ・ 電話番号：075-354-5275
- ・ メールアドレス：[contact@kyotobdc.jp](mailto:contact@kyotobdc.jp)
- ・ HP：<https://www.pref.kyoto.jp/biodic/index.html>

# きょうと生物多様性センター

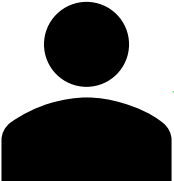


自然観察会を実施したいけど、  
どうすればよいか分からない

実施内容の提案や専門的な助言、講師の派遣、  
観察会当日のサポートなどの支援を行います！



 きょうと生物多様性センター

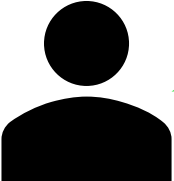


事業の中で生物多様性保全に取り組みたいけど、  
どんなことをすればよいか分からない

ご相談内容に応じて、専門的な見地から実施内容の  
提案や助言などの伴走支援を行います！



 きょうと生物多様性センター



自分たちの取組を多くの人に知ってもらいたい  
取組に参加してくれる仲間を増やしたい

交流オフィス等において、多様な主体による取組の  
紹介や、主体同士のマッチングなどの支援を行います！



 きょうと生物多様性センター

みんなで行動し、京都の豊かな自然環境と  
それに支えられた暮らしや伝統・文化を継承しましょう

